

震災復興誓い初登院

兵庫選出の新人らうへ人

首相指名、行革、消費税率

課題山積に挑戦

自民党単独の第二次橋本内閣が発足する七日。新しい制度で行われた総選挙で議席を得た議員たちが初登院した。行政改革、消費税問題、そして震災復興対策……。山積する課題は政治にその解答を早くも迫っている。この日朝、兵庫県内の新人五人と、返り咲いた二人の表情を追った。

「何でも一番がいいんや」で議員バッジを胸に着けてと、初登院一番乗りを果たした自民党の阪上善秀さん。縮まる思いです」と、い比例は、この日午前四時に起床。七時には国会に到着し、開門の八時を待ちかねたように、正面玄関

「何でも一番がいいんや」で議員バッジを胸に着けてと、初登院一番乗りを果たした自民党の阪上善秀さん。縮まる思いです」と、い比例は、この日午前四時に起床。七時には国会に到着し、開門の八時を待ちかねたように、正面玄関

「何でも一番がいいんや」で議員バッジを胸に着けてと、初登院一番乗りを果たした自民党の阪上善秀さん。縮まる思いです」と、い比例は、この日午前四時に起床。七時には国会に到着し、開門の八時を待ちかねたように、正面玄関



「新鮮な感覚で社民党を再生したい」と話す中川智子さん(右) 一国会議事堂

社民党は首相指名選挙で一回目から「橋本電太郎」と書くことを決定。しかし、「この三年間の社会党」社民党の行動の結果が十五議席から「橋本」なのでしようが、納得いかない。心の叫びを正直に書きます。

十年ぶりに赤じゅつたんを踏んだ新進党の塩田晋さん

「長かった充電期間を糧に、政策実現に向けて力いっぱい頑張りたい」。

新進党は、特別国会後の臨時国会に「消費税率据置法案」を提出する。「選挙中に、三つ据え置きを叫んでいた自民党議員の踏み絵にしたい」

やはり、十年ぶりのカムバックを果たした共産党の藤木洋子さん。比例は、「総保守化の中で、国民は真の野党を求めている」。消費税問題などの論戦を前に、「刀は研ぎ澄ましていく」と気合十分だ。

自民党の砂田圭佑さん。比例は「全国千五百人の候補者のうち、地震で自宅も職場も全壊したのは私だけ。ほかに震災復興に取り組める人はいない」。

自民党の戸井田徹さん。11区は、選挙中に死去した父親・三郎さんの遺影を抱えて登院。「私がかこにいたのは父親のおかげ」。また、父親の敏夫さんからバトンを受けた自民党の河本三郎さん。12区は「父親の分まで頑張ります」と話した。



そろって国会にカムバックした藤木洋子さん(右)と塩田晋さん一国会議事堂

震災対策を新人、復活議員に聞く (敬称略)

議員名	復興の最重要課題は	実現のため、どのような努力をするか
河本三郎 (自民)	仮設住宅から恒久住宅への移転	引っ越しや自宅再建費用などに利子減免の融資を訴える
阪上善秀 (同)	被災者援護法的な個人補償制度	地方自治体の負担が少ない制度を、社民、民主とも連携し実現を目指す
砂田圭佑 (同)	国民的な災害保障制度の創設	国、企業、国民が負担する制度を静岡などの議員らにも呼び掛ける
戸井田徹 (同)	被災者に今なにかが必要か問題点の整理	個人の自助努力で不可能な問題を明確にし積極的に取り組む
塩田晋 (新進)	公的資金による被災者個人の救済	特別見舞金制度創設のため党派を超えて同調者を募る
藤木洋子 (共産)	個人補償を通じた生活再建	すでに党が出した大綱案を基に県選出議員に共闘を呼び掛ける
中川智子 (社民)	個人補償と公営住宅の増設	自民、さきがけと連携し与党の立場で取り組んでいく